

# ここが聞きたい！



答弁中の中嶋町長

## コミュニティ、今後の事業展開は

### 暮らしと密着した中で

**問** 第一小学校内に、学童保育所併設でコミュニティセンターが新築されましたが、駐車スペースの増設、仕切り柵の設置は。今後の展望として、第二小学校・第三小学校にも併設での建設をお考えですか。町長が目指す町づくりにおけるコミュニティ（コミュニティセンター）の位置づけ、役割りは。コミュニティの更

なる推進として「地域づくりコミュニティ」から「くらしのコミュニティ」への事業展開を目指されていますが、どのような施策をお考えですか。出先業務の開業とありましたが、具体的にはどのような業務をお考えでしょうか。

**答** 中嶋町長



今村 桂子 議員

駐車スペースについては、絶対数としては不足していますが、タイムラグ等をうまく利用して使っていたらいいと思います。第二小学校は、学童保育所の増設およびその横にコミュニティセンターの併設を考えています。第三小学校は、



アザレア幼稚園にここルーム (旧第一保育所)



アザレア幼稚園わくわくルーム (旧西幼稚園)

アザレア幼稚園を山の神広場に建設し、旧西幼稚園をコミュニティ事務局と学童保育所に大規模改修を行いたいと考えています。対象年齢も将来的には6年生まで延長させたいと思います。暮らしと密着した中で、自分たちの町づくりは自分たち

の手でという気持ちで、防災・環境・福祉・医療・子育て等も窓口となり、コミュニティ事業を展開すること。また、「収入の1割事業」という考えで予算を持たせ、タイムリーに対応できることを念頭に置いています。

## 早急な校区の適正化の実現を

### 児童数の推移を見ながら

**問** 須恵町には、3つ小学校があり、児童数は平成26年度推計で、第一小学校629人・第二小学校764人・第三小学校367人で、アンバランスになっています。特に第二小学校は住宅開発が盛んで、人口増加に伴い児童数が増え、本年度、第二小学校に4教室を増築しましたが、今後も児童は増えると思

われます。校区は、行政区が均等に配置されていますが、将来を見据えると、通学区域の見直しが必要と考えます。町長のお考えは。

**答** 中嶋町長

第二小学校は住宅建築が進んで児童数が増加し、現在26学級となっています。今後増加が見込まれており、校舎を簡単に増設して、その時点だけで解消すればいいというわけにはいきません。校区を再編しながら様子を見ていくことが一番だと考えます。



松山 力弥 議員

例えば仮に、石区の児童が第三小学校に通うとすると、26年度の推計では、第二小

## JR須恵中央駅周辺の整備は

### 筑紫野古賀線改良工事に合わせ

**問** JR須恵中央駅は、町民の交通機関の確保と町の発展を祈念して平成元年3月に開業しました。通勤・通学に、また福岡都市圏へのアクセスには、非常に利便性の高い駅です。しかし、駅前周辺道路の渋滞や、駅前が狭いため車の乗り入れが難しい等の問題が多々あります。町長が掲げる利便性の高い

町の形成として、JR須恵中央駅周辺の整備は、どのように描いているのかお尋ねします。

**答** 中嶋町長

筑紫野古賀線改良工事の用地買収が26年度から3カ年程度で予定で、また事業完成が33年を目途に進められています。交差点の改良を早めにしていただき、その進捗に合わせて駅前広場の整備を進めたいと考えています。

校は27学級が23学級に、第三小学校は16学級が18学級になり、若干の解消は出来るのではないかと思います。これからの児童数の推移を見ながら、関係される方のご意見を参考にし、いろいろな状況を考えながら教育委員会で検討をする必要があると思います。



須恵中央駅周辺